

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

| | |
|------------|---|
| 研究プロジェクト番号 | S-18-4 |
| 研究プロジェクト名 | 国民の生活の質（QoL）とその基盤となるインフラ・地域産業への気候変動影響予測と適応策の検討と評価 |
| 研究実施期間 | 2020（令和2）年度～2024（令和6）年度 |
| テーマ代表機関名 | 東京大学 |
| テーマリーダー名 | 栗栖 聖 |

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

地方自治体における関心度や地域での生活の質（QoL）評価の基礎となるアンケート調査をもとに、都市QoL評価項目や気候変動のリスク評価を試算し、全国のレベルのQoL定量化や脆弱性を示した点が評価できる。深刻度の認知についてはレーダーチャートで表現することなどの意欲的な工夫が随所に認められた。また都市インフラの脆弱性や物質ストック・フローデータベースなども成果を挙げている。論文などの成果が多く出されていることに加えワークショップやオンライン講義などの広報活動も活発であった。ただ、こういった手法や指標を自治体の計画づくりなどに活用するためには、用いるパラメータの詳細化を行うことや利用条件をわかりやすくするなど、個々の自治体の取り組みに合わせるような一段の工夫が必要と考えられた。また、物質ストックと廃棄物量に関する気候変動影響評価からどのような政策提言が可能かなどを今後示していただきたい。